

全身性強皮症患者における COVID-19 感染に伴う合併症に関する検討

1. 研究の対象

2020 年 1 月～2024 年 12 月までに大阪大学附属病院皮膚科を受診した全身性強皮症の方で、当院もしくは他院の検査にて COVID-19 陽性が確認された方

2. 研究目的・方法

全身性強皮症は皮膚硬化および内臓諸臓器の線維化を特徴とする膠原病で、背景には免疫異常、線維芽細胞異常、血管障害があると考えられています。皮膚病変だけでなく、肺や腎臓、心臓などの臓器障害を合併し、これらの出現や増悪にはウイルス性や細菌性の感染症が関わっている可能性が指摘されています。また、全身性強皮症では副腎皮質ステロイドや免疫抑制薬の全身投与の治療がおこなわれることが多く、より感染しやすい状態にあることが推測されます。したがって全身性強皮症患者において COVID-19 感染により新たな合併症の出現や、既存の内臓合併症の増悪などの有無について検討し、全身性強皮症において、COVID-19 感染が確認された場合に注意すべき内臓病変や合併症などについて明らかにすることを目的としています。

研究期間は、研究機関の長の許可日～ 2027 年 12 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、検査所見、画像所見、治療内容、転機

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

国立大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学教室 藤本学

連絡先 06 - 6879 - 3031